

公益財団法人木口福祉財団設立25周年記念事業

「ヒゲの校長」上映会

(字幕あり)

【開催日】

2024年1月27日(土)

【場所】

ルネサンス クラシックス
芦屋ルナ・ホール

※先着400名
予約不要
入場無料

【プログラム】

13:00	開場
13:30~15:30	上映
15:30~16:00	主演 尾中友哉さん 講演

(手話通訳・要約筆記付)



2024年度地域福祉振興助成のご案内



2024年度のスケジュールが決まりました。
詳しくはホームページ内の募集要項をご覧ください。

公募期間：2024年1月25日(木)~2月29日(木)

～映画「ヒゲの校長」特集～

◆主演 高橋潔役 尾中友哉さんより

○出演を引き受けられた時のお気持ち

「できない！」と思いましたが、自分だけのための映画なら「初めてのことでしやってみよう」なのですが、観る人には僕が初めて演技をするなんてことは関係がないわけですね。そういう直感と同時に、谷監督の考えに興味を湧きました。主演の話ですし、お芝居の実績や経験を重視するなら起き得ない選択だと思い、その猛烈な違和感に対して自分も探り始めました。今思えば、その強い興味から自分と高橋潔さんのつながりをたぐるように演者として踏み出してって、やっと慣れた頃には撮り終わってました。



全体の撮影終盤に「最初の撮影はホント何も分かってなくて、緊張してどんな演技してたか分からないです」と言ったら、谷監督が「その頃はそもそも高橋潔自身も教師になる前後で、むしろその緊張が良かったですよ！」と言っておられ、どこまでが意図されたものなのか未だに分かっていないという不思議な感覚です。共演した日永さんが「あなたの役は8割以上キャスティングで決まる、あなたは自然にしていればいい」と言って下さり、自分の中ではその言葉が人選の謎における最大の解説のようになっています。



○実際にろう者と共演されて感じられたこと

すごく自然なことだなと思いました。余計なことを考えなくていいというか、生活の延長のように、視線を向けた相手が聞こえない人ならコミュニケーション方法が変わるということです。聴者とろう者が同じ場に佇んでいるだけで、そういう感覚や動きになるというか。この映画の撮影現場にはその感覚がずっとあって、だからこそ撮れたものというのは多数収まっていると思いますし、空気感のようなものかもしれませんが、この映画のひとつの特徴ではないでしょうか。

○観客の皆様へのメッセージ

「2つの考えが対立の構造をみせたとき、自分はどのように居られるか？」

この問いは、この作品に頂いた最大の贈り物でした。そして、自分が高橋潔さんを尊敬する最大の理由でもあります。尾中が自分自身に感じている未熟さ、しかしカメラが回れば高橋潔さんになって演じる。その中で、この問いが常に頭から離れず、作品への役目を終えた今も強く残っています。

高橋潔さんには利己や利他という概念すら超えた、唯一無二の命が最大限に躍動したという感動を得ます。この作品を通じて、高橋潔さんのその輝きが伝わりましたら、これ以上の喜びはありません。

◆映画「ヒゲの校長」とは

舞台は大正末期から昭和初期。

耳が聞こえない子どもたちへの教育は、口話法(口元を読み取り理解する方法)が主流となり、手話を締め出しました。

それに対して異を唱えたのが、大阪市立聾啞学校の高橋潔校長です。

権力に負けず、子どもに合わせた適正教育を訴え、手話を守った実話の映画化から多文化共生社会にメッセージを贈ります。

作中では世界基準となりつつあるように、ろう者役はろう俳優が演じています。また約100年前の当時の手話をできるだけ再現すべく、ろう者による手話指導を入れることで、鑑賞したろう者も納得の手話表現となっています。主演は、両親がろう者のCODAである尾中友哉さん。自身もろう難聴児の教育などにも携わり、演技を超えた迫真の想いをスクリーンに映し出しています。

高橋潔校長をはじめとする教員たちの奮闘ストーリーが胸を打つとともに、ろう教育や手話の歴史も学べる内容となっています。

◆主演尾中友哉さん講演について

高橋潔役を務める尾中友哉さんは、両親がろう者で生まれながらに手話のある環境で育ちました。お父様はこの映画に登場する大阪市立聾啞学校と口話法を生み出した滋賀県立聾話学校の両校に通った経験があり、演技素人でありながら手話の必要性について万感の思いを持って主役を演じています。

また尾中さんはろう児・難聴児への教育事業を展開するNPO法人 Silent Voice の代表理事であり、上映のあと映画製作の裏話から、高橋潔校長に感じる思いをたっぷりお話していただきます。



図書室・読書コーナー

図書室に絵本が増えて、書棚とフロアマットを充実させて、リニューアルしました。

絵本は0才～小学生まで年齢別に分けていますので、お子さまと楽しくご利用ください。



読書コーナーが新しくオープンしました。いろいろなジャンルの雑誌を置いていますのでゆっくりした時間をお過ごしください。

熱帯魚の水槽も設置！

お魚たちもみなさまのお越しをお待ちしています 🐟



ピラティス体験会 指導:小林真理(ピラティス認定講師)

深い呼吸を意識しながらゆっくりとした動きで身体も心もリフレッシュ!! 気持ちよく身体を伸ばしてみませんか。

「子育てママのゆったりピラティス」(お子さまと一緒に参加もどうぞ)

日時:2024年2月7日(水)10:30~11:15

「女性のためのやさしいピラティス」

日時:2024年2月14日(水)10:30~11:15



※各日とも、3階和室、定員6名(要予約)

節分プチイベント



期間：2024年1月23日(火)~2月3日(土)

時間・場所：9:30~17:00 1階交流ホール



今年は赤オニがやってくるよー👹新聞紙を丸めておおきな“豆”をつかってオニの顔に投げてね! みんなでオニをやっつけよう!!

現在の開館時間

火・水 土・日	9:30~17:00
木・金	9:30~21:00
月	休館日



Kiguchi Foundation
公益財団法人 木口福祉財団

芦屋市呉川町14-10

TEL 0797-35-5262

URL <http://kiguchi.or.jp>